

「受注では、情報を事前にどれだけ把握できるかが勝負」 主要事業は省力化機器部品 1ロット1個、2個が50%占める



女性オペレーターの活躍が目立つ



5軸加工機を駆使する女性スタッフ

女性が活躍できるような 組織づくりを志向

YMKは2011年に創業し、今年4月から15周年を迎えている。創業者の横山社長は「東日本大震災時に起業した。女性が社会で活躍できるような、組織づくりを目指し、そのための技術力習得に力を入れている」との志向を語る。

主要事業は省力化機



取材に対応頂いた佐々木係長

加工上の 差別化は、 プログラミング の速さ

ヤマザキマザック製VCN530C導入に
合わせ、特注スーパーG1チャックを手当

器部品で、顧客は地元にかほ市はじめ、岩手、山形などの東北エリア、東京、新潟、広島など全国にまたがる。主要取引先は十数社。1ロット1個、2個が50%を占め、3個レベルは20%という小ロットの世界を標榜する。素材では鉄が半分、あとはアルミニウムで2分、重量では持ち運び可能な30キロ未満。省力化機器の世界は、1億円の装置があるとして、3分の1、およそ3千万円が加工部品で占められる。受注に際しては、情報を事前にどれだけ把握できるかが勝負となる。横山社長が補足している。

「加工上での差別化は、プログラミングを早く、早く組んでいく。この新規設備に合わせるよう、指示され、商社に相談したところ、ユキワ精工の営業の方が同行し、弊社を訪問してくれた。他社製ではビビリ音の発生や段取りで手間がかかったが、ユキワ製はコロコロ交換だけで対応できる利便性に加え、主軸からの距離を短くしたいとの弊社からの要望を折り込んだ、B-T仕様のスーパーG1チャックの特注を請けて頂くことになった。

テスト結果では、工具寿命で1.5倍ほど長くなつたうえ、切削条件を上げることが可能となり、生産性が30%ほど向上。「感覚的に言えば、サクサク」削れるようになった。その後、2018年にヤマザキマザック製VCN530Cが追加発注され、併せて特注のスーパーG1チャックも、2020年のDMG森精機製DMU50の導入では、

とに尽きる。Gコード主体のブラザー、対話式のDMG森、ヤマザキマザックと、メーカーによる機械の特性に合わせた対応で、先手を打つ。ユキワ精工との出会いは2017年。佐々木係長が入社する際に検討されたヤマザキマザック製VCN530C導入のタイミングに重なり合う。

**ユキワ精工のG1チャックで
工具寿命1.5倍
生産性30%向上**

省力化機器部品に特化するYMK(秋田県・にかほ市)
ユキワ精工ツーリングユーザー訪問 横山社長、佐々木係長に聞く

ツーリングシステム
スーパーG1チャック



ツールホルダーを
変えると、
生産性が向上する



YUKIWA

ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック

<https://www.yukiwa.co.jp/>

検索

Precision Grade No.1
G1
Super G1 Chuck

本社・工場/〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所/東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

お客様から
ありがとう
と言っていただけ
ツールホルダー